

## 生産者が広島県産チンゲンサイをPR！

【平成 30 年 11 月 21 日掲載】

J A 広島北部ハウス野菜グループ（安芸高田市，北広島町）では，13 名の生産者がハウス面積 3.3ha でチンゲンサイを周年栽培しています。現状の販売額 0.7 億円を平成 31 年には 1.2 億円へ増やすことを目標として，栽培技術向上や PR 活動に取り組んでいます。

11 月 10 日（土）に PR 活動の一環として，マックスバリュ段原店にて開催された「広島県産応援フェア」にチンゲンサイを出展しました。グループから 2 名が参加してチンゲンサイの試食，レシピ配布を行い，食べ方や産地情報を消費者へ PR しました。試食はチンゲンサイと白ねぎ，豚肉を使った鍋を提供し，お客様から「チンゲンサイを中華炒め以外に使ったことがなかった。鍋に入れてもおいしい。」といった反応がありました。

グループ長の岡田耕治氏は「チンゲンサイは味に癖がなく，どんな料理にも合うことを知ってもらいたい。グループで積極的な PR 活動をしていきたい。」と意気込みを語られています。

今後も PR 活動を通じて広島県産チンゲンサイの認知度向上に取り組み，得られた情報を生産・販売に活かして産地拡大を進めていくことにしています。



【広島県産応援フェアに参加した生産者，左；岡田氏，右；松長氏】

情報提供元

西部農業技術指導所